



### 原子力防災計画は市民の命 守れるものに

栗津 まり 議員

国が防災対策を重点的に充実すべき地域を30キロ圏内に拡大したことを受けて

**問** 県が実施した放射性物質拡散予測では30キロ圏外にも及んでおり、市内全域を防災対策区域にすべきでは。

**答** 防災監 国において防護措置の判断基準は、現時点において明らかにされていないため、当面はUPZの30キロ圏内の地域と考えています。

**問** 県はモニタリングポストを30キロ圏外に設置する計画ですが、より原発に近い所に、また高い放射線量まで測定できるポストの設置が必要では。

**答** 県の検討委員会にて提案されており、今後国に対して要望していくようになる予定です。

**問** 甲状腺被曝を防ぐため安定ヨウ素剤の服用が重視されたことからも、配備・



早期廃炉が求められる「もんじゅ」

**問** 危険な老朽原発と「もんじゅ」の早期廃炉の要求を。

**答** 防災監 放射線の基礎知識や大量に浴びると危険で、人体への影響が大きいこと、事故が起きた時の心構えや対応等、また各分野での利用について指導しています。

配布方法の再検討を。  
**答** 配布時期、配布要領については、避難計画の策定にあわせて検討していきます。

**問** 子どもの安全を守るため、給食食材の放射線測定を万全の体制で。

**答** 教育部長 納入業者に安全性の確認が出来る書類を提出させるなどの措置をしていますが、必要に応じて市独自で検査することとしています。

**問** 原発事故を受けて学校での放射線についてどう教えるのですか。

**答** 放射線の基礎知識や大量に浴びると危険で、人体への影響が大きいこと、事故が起きた時の心構えや対応等、また各分野での利用について指導しています。

**問** 減少傾向にある予約タクシーの利用を増やすため、ダイヤ・コースに縛られない集落全域を走るドアドア方式にすべきでは。

**答** より一層、市民への周知啓発を図ります。区域全域運行については今後の課題とします。

今後の事業者との定期協議の場などで、高経年化対策も含めた安全対策の強化を求めるとともに、強く意見が言えるよう努めます。

### バス交通体系の抜本的見直しを

**問** 4月の見直し後、買物・通院利用が増加。それを踏まえた路線の新設・改善が必要では。

**答** 土木交通部長 今回は、乗り継ぎの利便性やダイヤの一部変更を検討します。新ルート開設は今回の主要な見直しテーマとします。

**問** 減少傾向にある予約タクシーの利用を増やすため、ダイヤ・コースに縛られない集落全域を走るドアドア方式にすべきでは。

**答** より一層、市民への周知啓発を図ります。区域全域運行については今後の課題とします。



### 北川ダム建設中止と安曇川河道 改修の早期実施を

福井 節子 議員

県は北川ダムの検証を進めてきましたが、当面河道改修で30年に1度の洪水にも耐えられる安全確率に変更する旨、表明しました。これまでの「検討の場」やパブリックコメントでも、概ね河道改修を容認し、参加者は安心安全に暮らせるよう、早急な河川改修を求める

**問** 二線堤やかすみ堤を活かし、ダムに頼らず河道改修を早期に、確実に実施することを求めるべきではないでしょうか。

**答** 土木交通部長 二線堤やかすみ堤は有効な手段と考えますが、百年に一度の洪水に耐える安全度を将来目標とする



台風で被害が発生した高岩ダム周辺

意見の方向です。

**問** 都市計画マスタープランを、総合計画後期計画にどのよう位置付けされるのですか。

**答** 土木交通部長 総合計画後期基本計画の「未来を託す基盤づくり」の中で整合を図り位置づけしています。

**問** 県内他地域に比べ恵まれた点を、どのように施策展開されますか。

**答** 産業経済部長 本市の恵まれた地域資源を大切に保全しながら、観光誘客等に結びつけていきたいと考えています。

**問** このマスタープランは3年前にコンサルに委託されましたが、未だに策定されず、当時とは市内状況が大きく変化しましたが、コンサル料は有効活用されたのですか。

**答** 土木交通部長 業務を委託した成果品をベースに策定しています。

**問** 企業誘致推進のために用途地域の見直しを再三訴えてきましたが、ど

の程度の見直しを考えていますか。  
**答** 地域環境の変化に伴い、現況にそぐわなくなった用途地域の見直しに主眼を置いています。



### バス交通体系の見直しについて

廣本 昌久 議員

**問** バスから乗り合いタクシーに変更した路線の利用客が、激減した原因を伺います。

**答** 土木交通部長 市民の方への見直しにかかる内容の周知啓発が不十分であったことや、JRとの接続がスムーズにいかなくなったことな

ど、実態にそぐわない点がいくつかあったものと考えます。

**問** 激減は啓発不足であり、各集落に懇切丁寧な説明すべきと考えますが、如何ですか。

**答** 残された期間に踏み込んだ検証を進めると



利用者が激減した乗り合いタクシー路線

の程度の見直しを考えていますか。  
**答** 地域環境の変化に伴い、現況にそぐわなくなった用途地域の見直しに主眼を置いています。

**問** 高島市の森林活用施策について  
**答** 産業経済部長 本市の恵まれた地域資源を大切に保全しながら、観光誘客等に結びつけていきたいと考えています。

障がい児・者の暮らし  
応援を

**問** 基本協定関係者には丁寧な説明と、納得いく地域振興策を。  
**答** 基本協定書は、今後の県の対応方針を踏まえ、市長立会いの下で、地域の思いが反映できるようしっかりと取り組んでまいります。

**問** 台風で関西電力高岩ダム周辺で被害が発生しました。その事後処理で地域から要望が出されています。市は関西電力や県に対して、市民の立場で意見を。  
**答** 関西電力の工事が起因した被害が二度と発生しないよう、県から指導していただきます。

障がい児・者の暮らし  
応援を

**問** 障がい児・者の入院を豊かにするため、グループ移動支援事業がでないでしょうか。  
**答** 健康福祉部長 グループ等への支援に対し、移動支援事業の柔軟な運用により、多くの方にご利用いただけるよう努めます。

**問** 障がい児・者の入院は特別の負担が伴います。家族による24時間付添いに支援を。また、ヘルパーでは対応出来ない場合もあり、施設職員が付添う時は、施設内の運営に支障が出ます。適切に必要な施策を求めます。  
**答** 障がい児・者の入院における支援員派遣については、一人ひとり障がいの状態や意思疎通の状況も異なりますので、支援体制の組織化など、障がい者自立支援協議会の中で十分協議してまいります。